

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 734

政策体系	25	事業分類	ソフト事業	所管部局	教育委員会 社会教育課
会計	一般会計	科目	10. 教育費 - 5. 社会教 - 5. 文化財 現年		
事業名	文化資料保全補助事業				
細事業名	文化資料保全補助事業				
				評価表作成者	教育委員会 社会教育課 川勝 忠和

1. 事業の概要

文化財資料保全に対する補助

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

伝統文化に培われた建造物やその母体となる祭礼などの保存のためには定期的な修繕等が必要不可欠で、そのための費用を補助する。補助金を支出することで文化遺産の継承が図られる。

② 事業を実施する必要性

本市の歴史や文化を伝える指定文化財やそれに準じる未指定文化財が対象であり、府の補助制度と共に補助事業を実施している。また、今後も継続していく必要がある。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	3,429	1,133	2,398	1,610	1,500	1,500	1,500
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	500	360	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,429	1,133	1,898	1,250	1,500	1,500
職員等の従事人員	人/年	—	0.23	0.27	0.37			
人件費	千円	—	1,594	1,942	2,655			
事業費総額	千円	—	2,727	4,340	4,265			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

文化資料保全補助金 1,610,000円（負担金、補助及び交付金）

5. 事業結果の概要

国指定文化財維持管理事業関係補助
 府指定文化財維持管理事業関係補助
 府指定文化財修理事業関係補助
 京都府社寺等文化資料保全補助金関係補助

6. 活動の詳細

補助金交付		
国・府・市の指定文化財並びに未指定文化財に対し、要綱に基づき補助金を交付。	22. 4. 1～23. 3. 31	修理件数 1 4 件

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

指定文化財等の維持管理に係る事業について補助することができた本殿の建替等、大型工事への予算面での対応が課題

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

指定文化財等の維持管理に係る事業について補助することができた本殿の建替等、大型工事への予算面での対応が課題

■平成21年度の所属長評価

①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点 限られた事業費をどのように活かしていくか協議
②当該事業のアピール事項 国や府並びに市からの補助制度により、負担が軽減されることにより、文化財が維持され後世に伝えられることは伝統文化を守る基本施策であり、非常に重要な施策である。
③反省点、今後の展開・方向性等 財政厳しい中で、今後どのように本事業を展開していくのが問題。